

福岡教育大学「未払い賃金請求訴訟」証人尋問

熊本大学教職員組合は、「臨時特例」に対応した給与減額と退職手当減額に提訴した全国の10単組への支援を続けてきました。先週の9月10日(水)には、非公開での協議を続けていた福岡教育大学未払い賃金請求訴訟の第二回公判(証人尋問)が開かれ、熊本大学教職員組合から4名が裁判傍聴と報告会に参加しました。その翌日には、全国で集約された個人署名30,671筆と団体署名562筆が裁判所に提出されました。熊本大学の署名集約数は、福教大3,037筆、高専協議会2,926筆、高エネ研2,910筆と募金11,300円を集めることができました。みなさまのご理解とご協力に感謝いたします。なお、今回の裁判と報告会の様子を、『全大教・賃金請求裁判速報 No. 49』(2014.9.11)より以下に転載してお知らせします。

120名もの傍聴者が見守るなか、充実した証人尋問

——福岡教育大学未払い賃金請求訴訟第2回公判報告——

9月10日(水)14時45分から福岡地方裁判所301法廷で、福岡教育大学未払い賃金請求訴訟の第2回公判(証人尋問)が行なわれました。301法廷は傍聴席の定数100の最も大きな法廷ですが、定数100を遥かに超える120名が傍聴し、急遽、法廷に長椅子が設置されるほどでした(被告側の傍聴者は7名)。福岡教育大教職員組合以外では、山口大、九州工業大、九州大、佐賀大、大分大、熊本大、鹿児島大、有明高専、都城高専、高エネ研の11単組から、また福岡県国公から傍聴に参加しました。

目的を達成した証人尋問

証人尋問に立ったのは、公認会計士の根本氏と原告代表の西崎氏の2名で、それぞれ根本氏が70分(原告側の主尋問40分、被告側の反対尋問30分)、西崎氏が45分(原告側の主尋問30分、被告側の反対尋問15分)の予定でした。

根本氏は、2008年度～2012年度の財務諸表の分析をもとに、①十分な資金があり、給与を減額する必要はなかったこと、②適切に対処すれば、より資金を獲得できていたことの2点を明晰に説明しました。被告からの反対尋問は、事実確認程度のものにとどまり、根本氏の説明を揺るがすような質問や主張はまったくありませんでした。

西崎氏は、①給与減額が大学教員の生活と教育研究に及ぼす不利益、②団体交渉内外での大学使用者の不誠実な対応の2点を具体的に説明しました。被告からの反対尋問は、印象作りを目的とした情緒的な内



報告集会の会場の様子
中央は福岡教育大教職員組合委員長の金光氏

容のものばかりでした。

根本・西崎両氏ともに原告側の主尋問は一貫して事実と論理に基づいた充実したものであったのに対して、被告側の反対尋問は証人の主張を揺るがすものは皆無で、時間的にも予定の時間よりも早く終わりました。それゆえ、予定よりも15分早く16時30分に終了しました。

報告集会

公判終了後、17時15分から「アーバン・オフィス天神」で報告集会を開催しました。福岡地方裁判所から徒歩で15分ほど移動する必要があったにもかかわらず、50名以上の方が参加し、会場が満席になりました。

報告集会では、福岡教育大教職員組合委員長の金光氏、全大教書記長の長山氏があいさつし、福岡教育大とともに先行して提訴した高専の川崎氏、高エネ研の手島氏が裁判の状況を報告して連帯の意志を確認しました。さらに原告団を代表して秋永氏が「公正判決を求める署名」の協力に謝意を表するとともに、自身の意見陳述書に込めた想いを語りました。最後に、弁護団の堀・吉村両氏が裁判の感触と今後の予定を説明しました。第1回公判につづいて今回も傍聴席を埋め尽くしたことは裁判官に大きな影響を与えるとし、証人尋問の内容、傍聴支援の運動ともに成功していると主張しました。

なお、報告集会では退職金減額問題で裁判を闘っている佐賀大OBの豊島氏も発言しました。

翌9月11日に署名を提出!!

全国のみなさんの協力によって、「福岡教育大学教職員による未払い賃金請求訴訟の公正な判決を求める署名」は3万筆を超える数を集めることができました。この場を借りて、皆さんの協力にお礼申し上げます。

この署名は、第2回公判の翌日9月11日(木)10:00に福岡地方裁判所に提出しました(福岡教育大教職員組合役員、弁護団吉村氏、全大教書記長が提出)ので、ご報告いたします。



3万筆を超える署名

次回は、11月19日(水)13時15分から最終弁論が行なわれ、今年度中に結審が出ると予想されています。傍聴を希望される方は、組合事務所までご連絡ください。今後とも福岡教育大学をはじめ全国で行われている訴訟の動向にご注目ください。

| | | |
|------------|---------------------|---|
| 赤煉瓦 | 熊本大学教職員組合 | |
| | No.6 2014. 9. 22 | 内線:3529 FAX:346-1247 ku-kyoso@union.kumamoto-u.ac.jp http://union.kumamoto-u.ac.jp/ |